

## P2M マガジンの役割

本学会誌は、下記の内容を取り上げて P2M の普及と会員促進を目的として発行するものである。

### ① P2M 理論の紹介

- 1) 理論の規範
- 2) 事例紹介
- 3) 理論の進化

### ② P2M 理論の啓蒙

- 1) 新しく P2M 理論を学ぶ人を対象とした記事
- 2) P2M 理論を使って研究している組織の紹介
- 3) P2M 理論が当てはまる事業の紹介

### ③ 特集企画

- 1) その時々話題や近い将来顕在化する P2M 理論が貢献できるテーマに関して P2M 理論の有効性を示す記事を掲載する。

### ④ 学会行事のお知らせ

- 1) 年 2 回の研究発表大会
- 2) ビギナーズセミナー
- 3) P2M 理論の講習会
- 4) 共催による講演会

### ⑤ 会員の声

- 1) 会員からの P2M に関係した話題

基本的に編集委員会で企画し、依頼原稿が中心ですが、会員からの投稿も歓迎します。

原稿執筆は、下記のフォーマットでお願いします。原稿の本文は、2 段組みに編集します。

少なくとも 1 回のゲラ更正をお願いします。原稿用紙 1 枚につき、**1000** 円 of 原稿料をお支払いします。

内容によっては、編集員会での議論を踏まえて、修正依頼することもありますので、ご承知おきください。

記事は、解説記事扱いで、査読付き学術論文には該当しません。

## 閲覧方法

ホームページから誰でも購読することができる。記事は、J-S t a g e に掲載収録される。

## 原稿のフォーマット

1. A4 サイズ Word 原稿
2. マージン 上下左右 20mm
3. 40 行 x 40 文字 1 段
4. フォント 明朝体 12 ポイント
5. タイトル (副題含めて 2 行)
6. 肩書と氏名
7. 図 1、表 1 のように表記。写真は図として番号を付ける。  
タイトルを入れます。
8. 図表は本文中に割り込ませないで独立に挿入
9. カラーも OK
10. 参考文献、引用文献の書き方は学会の論文中の表記法に準拠する。

## 編集体制

編集委員長 1 名、副委員長 1 名、編集委員 8 名以内、学生委員 数名